

別記第5号様式(第8条関係)

令和元年度政務活動費収支報告書

令和2年3月31日

北広島市議会議長 野村幸宏様

会派名 無会派

代表者名 大迫 彰



北広島市議会政務活動費の交付に関する条例第7条の規定に基づき、下記のとおり令和元年度の政務活動費に係る収入及び支出について報告します。

記

1 収入 政務活動費 130,000 円

2 支出

使途基準項目	金額(円)	内 容
研究研修費		
調査旅費	128,119	行政視察経費(千葉県鎌ヶ谷市、奈良県田原本町、沖縄県名護市)
資料作成費		
資料購入費		
広報費		
広聴費		
要請及び陳情活動費		
合計	128,119	

3 残額 1,881 円

注1 内容欄は、主たる内訳を記載すること。

2 支出の使途基準項目別、支払先別の調書を添付すること。

3 政務活動費を充てた経費に係る領収書(領収書を徴することが困難な場合は、経理責任者の支払証明書)の写しを添付すること。

会派名 無会派 大迫 彰

使途基準項目別支払調書(調査旅費)

年	月	日	支出額	内容
1	8	13	33,990	行政視察(千葉県鎌ヶ谷市、奈良県田原本町) 交通費(航空機:千歳→羽田 伊丹→千歳)
1	8	13	7,100	行政視察 宿泊費
1	8	13	14,110	行政視察 交通費(新幹線:品川→京都)
1	8	15	1,480	行政視察 交通費(高速バス:近鉄奈良→伊丹空港)
1	8	22	590	行政視察 交通費(JR:北広島駅⇒新千歳空港駅)
1	8	22	1,380	行政視察 交通費(私鉄:羽田空港⇒新鎌ヶ谷)
1	8	23	659	行政視察 交通費(私鉄:新鎌ヶ谷⇒品川)
1	8	23	820	行政視察 交通費:(私鉄:京都⇒田原本)
1	8	23	400	行政視察 交通費(私鉄:田原本⇒近鉄奈良)
1	8	23	590	行政視察 交通費(JR:新千歳空港駅⇒北広島駅)
1	12	13	47,480	行政視察(沖縄県名護市) 交通費(航空機:千歳⇄那覇)
2	2	7	18,400	行政視察 宿泊費
2	2	8	1,120	行政視察 交通費(JR:北広島駅⇄新千歳空港駅)
合 計			128,119	

会派公明党 視察研修報告書

期間	令和 元 年8月22日 ~ 令和 元年8月23日 まで
----	-----------------------------

調査地選定理由
① 千葉県鎌ヶ谷市 【選定理由】{通年議会}を今年度から導入し、今までの取組みを参考にするため、視察しました。本市も通年議会を取り入れるべきかを判断するため。
② 奈良県田原本町 【選定理由】市民の足を確保するために、「タワラモトンタクシー」の仕組みを調査し、本市の高齢者の足の確保の施策の参考に視察しました。

<行程表>

年 月 日	行 程
8月22日	ANA HD14便 新千歳—羽田 JR 羽田—鎌ヶ谷 千葉県鎌ヶ谷市役所 14時視察テーマ「通年議会について」 ホテル 東横INN新鎌ヶ谷駅前
8月23日	JR 鎌ヶ谷—品川（新幹線）—京都—田原本 奈良県田原本町 14時視察テーマ「タワラモトンタクシー」 JR 田原本—奈良 バス 奈良—伊丹空港 ANA779便 伊丹—新千歳

<視察者>

木村真千子議員、 藤田 豊議員、大迫彰議員

	報告書作成者	藤田 豊
視察対応者 鎌ヶ谷市議会議員 泉川ようじ		
「通年議会」に関する説明		
1. 通年議会とは会期を1年とし、その間は、議会の判断において必要に応じて会議を開けるようにする制度である。		
2. 通年議会を実現する方法		
(1) 従来の「定例会」の運用に工夫を加えて実現する方法		
21市で導入（鎌ヶ谷市もこの方法）		
定例会は、限られた期間（会期）で、議案を集中的、効率的に審議するための制度。		
○通年議会は、定例会の運用に工夫を加えることでも実現。		
○1年間に召集する定例会の回数は、各自治体が定める。		
○「通年議会」は、定例会の回数を年1回とし、会期を約1年とする運用で実現可能である。		
○1年間は、長の招集によらずとも、議会の判断で開くことが可能となる。		
(2) 新たな「通年の会期」を採用する方法（平成24年の地方自治法改正で創設）8市で導入		
○「通年の会期」とは、定例会、臨時会の区分を設けず、条例で定める日から翌年の当該日の前日までの1年を会期とする制度。		
○次の事項を条例で定める必要がある		
会期の始期		
定例日（定期的に会議を開く日。定例日以外にも、随時開催は可能）		
○長の招集は、実質的に4年に1回（改選時）。2年目からは、みなし招集となる。		
○4年間は、長の招集によらずとも、議会の判断で会議を開くことが可能となる。		
主な質疑のやり取り		
問 議長権限が強化されるとは、具体的にどのようなものか。		
答 議案の提出に合わせて、議長の権限で議会を召集することができるようになった。議会主導の判断が可能となった。		
問 地域での議員活動の時間が減少するおそれあるとのことだが、実態は。		
答 常に議会が招集されるわけではないので、大きな負担になっている状態で		

はない。

問 執行部の行政能率への影響といった懸念があるとのことだが、どのような内容か

答 議会事務局においては、通年議会を導入にあたり、条例の改正が伴うために、その作業の多くの時間が取られた。通年議会になると、議会事務局に今までとは違う忙しさが加わり、現在の職員数では職員の時間外勤務は増えると思われる。

視察の所感

本州の各議会で、「通年議会」を導入する自治体が増えている。鎌ヶ谷市の議長の感想としては、議員活動は年4回の定例会だけで、それ以外は自由な時間との認識があったが、通年議会の導入により、1年間を通して議員活動をするという意識と緊張感が生まれたことは、大きな効果があったと思うとの話がありました。本市でも「通年議会」を検討する価値があると実感した視察でした

「タワラモトンタクシー」 報告者 藤田 豊
奈良県田原本町町長公室総合政策課課長 西浦至広
事業内容の説明

奈良県田原本町は2018年度、移動に困難を伴う人の外出を支援するため、民間タクシーの初乗り運賃を補助する「タワラモトンタクシー」事業を開始し、大きく成果を上げています。従来のデマンドタクシー事業と比べ、1カ月の平均利用回数は5倍に増加。予約の競合が少なく、近所同士で自主的に乗り合うケースもあります。

田原本町は2010年から、買い物や通院などの移動に困難を伴う人を支援するため、乗り合いのデマンドタクシーを運行してきました。登録者は2000人を超え、1日の平均利用者は24人(2017年度)だった一方で、年に一度も利用しない登録者が全体の8割を占め、利用者の偏りがみられました。

原因は利便性が良くないこと。町が行った登録者へのアンケートなどでも、3時間前までに予約が必要な点や、最大2台と少ない運行台数、停留所までの移動負担に対し改善を求める声が目立った。利用していた住民は「午前中の早い時間に利用したい場合、前日に予約しなければならなかった」との感想が多くありました。

昨年7月にデマンドタクシーに替えて開始した「タワラモトンタクシー」事業は、町内の民間タクシー会社4社で使えるチケットを町が独自に発行し、タクシーの初乗り運賃680円を助成する仕組みです。70歳以上の高齢者や妊婦、未就学児に年間24枚、身体障がい者らに年間12枚のチケットを配布します。利用時間は午前8時から午後6時(月曜日から土曜日)で、複数での乗

り合いや、発着のいずれかが町外の場合も補助対象になる。事業名は同町公式キャラクターのミニブタの名前からとりました。

田原本町によると、事業開始直後にデマンドタクシーの登録者数を上回り、昨年度はそのうち6割超が実際に乗車。月平均の利用回数はデマンドタクシーの5倍で推移し、成果を上げた背景には、町内を巡回するバス路線がないことや、鉄道駅のある中心部から半径約3キロに収まる“コンパクトな町”の特色が生かされたことも大きい都の説明でした。

視察後の感想

北広島市は、現在、団地地区と東部地区の中央バスを利用できる70歳以上の住民を対象に、年間2,000円のバス利用券を発行しているが、この地域以外の人には、恩恵が無く各地域より、同様のサービスの提供を求める声が多く出ている。この期待に応えるには、「タワラモトンタクシー」の施策は、本市でも実施可能と考えられる。ただし、田原本町と条件が違うのが、市内に2社の路線バスが運行していることあることから、田原本町と同じやり方ができるとは限らないが、大いに参考となる施策であると思いました。

名護市営球場整備関連視察報告

視察日 令和2年2月5日～7日
視察者 無会派・大迫彰
公明党・木村真千子、藤田豊

名護市 大城秀樹議長
議会事務局 新垣次長、上地係長
建設部都市計画課 桃原技官
金城商工会会長

視察目的

市営球場のリニューアルの整備・経過及び運営について
名護商工会議所会長と北広島市と民間交流について懇談

視察報告

名護市営球場は、日本ハムファイターズがキャンプ地として長年使用してきたが、建設が40年経過し極度の老朽化が目立ちはじめ、今後の球場運営に支障をきたしてきたため建て替えリニューアルを検討。

平成28年度に実施計画、平成30年度工事着工し、平成31年度完成
事業費 45.6億円

社会資本整備総合交付金(補助率50%)を活用

リニューアル後は、日本ハムのキャンプ地として再度利用がはじまり、名護市の経済にも大きく貢献している。

運営について

- ・球場周辺誘導等ボランティア

日ハム側が手配するボランティアと、名護市側が手配するボランティアがいる。すべて有償ボランティア。

- ・敷地内売店等

敷地内は4店舗のみ。4店舗は名護市が常時設営許可をだしている。常設店舗代を名護市に収めている。イベント開催時に4店舗以上にするかどうかは、そのイベント開催主体者が判断する。

- ・下水

旧球場MAX定員4千人。新球場MAX定員7300人。特別な措置を取らず、都度使用に対し下水へ流している。一旦貯留槽に溜めてチョットづつ流してい

ることはしていない。

・路上駐車対策

現在はキャンプのみであったため、違法路上駐車は発生していない。球場駐車場のほか、漁港敷地を臨時駐車場とし、シャトルバスを運行している。

しかし、巨人とのオープン戦が予定されていることから、路上駐車が取れだけ出るかが予想つかない。臨時駐車場の拡大も協議していく。

名護商工会会長との懇談会

北広島市に日ハムボールパークの建設が決まり、本年の日ハムキャンプに上野市長が差し入れをもって行くことになったことにより、交流都市として繋がることができるようにできないか懇談。

行政同士の交流はすぐにはできないので、まずは北広島商工会と名護市商工会が交流を持ってもらう。名護市商工会会長からは前向きなお話をいただいた。

